

暴力団に公金が流れた不祥事

市民に くわしく 説明を!

広域圏議会(10/15)で、平野市議が要求

真相解明を求める 市民の請願も否決

この議会には、白石昇氏(元市議)から賛同署名 1,487 筆を添えて「ごみ行政に暴力団が絡んだ不祥事の真相解明のために、地方自治法 100 条に基づく調査を求める請願」が提出されました。採決の結果、賛成少数で否決されました。

議会まで臭いものにフタでしょうか。

【賛成】 平野文活、佐藤隆信、阿部直瑞
野口哲夫、黒木愛一郎

【反対】 自民、公明、社民の各市議

・当局が驚くべき答弁：
10月15日、別府速見広域圏議会が開かれ、日本共産党から平野文活(別府)、佐藤隆信(日出)、阿部直瑞(杵築)の各議員が質問しました。
平野市議の「さらに調査し住民への説明を」という要求に対して、当局は「これ以上の調査も説明も必要ないと、驚くべき答弁をしました。」

これ以上の調査も
説明も必要ない

―― 平野市議が明らかにした、『別府環境(株)』から

水永(浜田市長の知人) 北野(暴力団員) への、カネの流れ

- ◇H22年5月～23年8月(16ヶ月)……水永に「リース料」名目で毎月200万円を渡し、うち100万円を北野に。
- ◇H23年9月～11月(3ヶ月)……水永が失踪したため、税理士報酬に100万円上乗せした形にして、北野に。
- ◇H23年12月～25年1月(14ヶ月)……役員4人の給与に25万円づつ上乗せして月100万円をつくり、北野の息子を通じて北野本人に。

日本共産党別府市議団

市議会議員 平野文活 えんど久子

げんきニュース

2013年
10月17日

NO, 576

平野市議……北野(暴力団)と水永は ごみ焼却場に**5年前**から**介入!**

逮捕から判決まで

今年2月6日 7人逮捕
同 3月19日 3人起訴
同 4月15日 **水永弘行に判決**
(懲役1年6月、執行猶予3年)
同 5月24日 **河村健久に判決**
(懲役2年6月、執行猶予3年)
同 8月2日 **北野晴彦に判決**
(懲役2年、執行猶予5年、追徴金900万円)

『九州重環』はなぜ、
突然、撤退を表明したのか?
30年以上、焼却業務を請け負って
きた『九州重環』が、平成22年2月
に、なぜ突然、撤退を表明したのか
という平野市議の質問に、当局は「従
業員が新会社に移ったから」などと
答弁しました。
平野市議は「真相は暴力団が介入
してきたからだ」と反論しました。
暴力団・北野はすでに平成21年3月
から水永とともに介入しています。

『別府環境』でなければ
炉が止まると、脅した浜田管理者
浜田管理者は「苦渋の選択」などと言って、
入札資格もなかった『別府環境』と随意契約
を結び、焼却業務を委託しました。今議会でも
当局は「あのと時の選択は正しかった」など
と居直りました。
平野市議は「現に今、『九州重環』も『別府
環境』でもない直営で炉は動いている。あのと
時の『炉が止まる』は『脅し』だったことは
明らかだ」と反論しました。

「プライバシーがあるから
**暴力団についての調査は
できなかった」と答弁**
平野市議が、平成23年4月の新聞に
『ある社員の実父(暴力団員)が介入』
と報道され、当時の議会で調査を約束
したのに「社員の中には暴力団員はい
ませんでしたが」と「調査報告」を
している。なぜ「実父」を調べなかつ
たのか、と追及。
当局は「プライバシーの関係で調査
できなかった」などと答弁しました。

水永との関係を切れなかった 浜田管理者に最大の責任がある、と追及

水永弘行との関係につ
いて浜田管理者は「古く
からの支援者の一人」と
認めています。
平野市議は、水永がゆ
めタウンの出入り業者か
ら「紹介料」を取ってい
た疑惑を別府市議会で質
問した際、浜田市長は「本
人に確かめたが、そんな
ことはしていない」と言
っているとかばってき
た。逮捕されて初めて「そ
んな人だったのか」と認
めた。水永との関係を切
れなかったことが今日の
事態を招いた。管理者を
辞職して、新管理者のも
とで真相を解明すべき
だ、と追及。
浜田管理者は「条例で
別府市長が管理者となつ
ており辞職はできない」
と居直りました。
条例を変えればできる
ことです。